



第16回成果報告会の開催について

今年度の夏期観測は、新型コロナウイルスに対する万全の対策の下、富士山山頂及び山麓において研究活動が実施されました。

それらの研究成果について、下記のとおり成果報告会を開催いたします（詳細はプログラム参照）。

皆様のご参加をお待ちしております。

※報道関係の皆様におかれましては、土曜日の午後ではございますが、中身の濃い研究発表がたくさんありますので、お時間を割いてご参加頂けますようお願いいたします。

1. 第16回成果報告会開催概要

- (1) 主催：認定NPO法人富士山測候所を活用する会
- (2) 後援：静岡県、日本たばこ産業株式会社、一般財団法人 WNI気象文化創造センター、一般財団法人 新技術振興渡辺記念会
- (3) 日時：2023年3月18日（土）13時～18時（予定）
- (4) 会場：会場（中野サンプラザ会議室）とZoomによるハイブリッド開催
※ Zoomの招待URLは、決まり次第サイトに掲載するとともにメールにてご連絡させていただきます。

2. 講演内容

■第一部『大気を調べる』

石川県立大学、東京都立大学、帝京科学大学、早稲田大学、埼玉県環境科学国際センター 他
世界で深刻な問題として注目されている「大気中のマイクロプラスチック」、大気汚染物質である「窒素酸化物、二酸化イオウやオゾン」、越境大気汚染解明に向けた「エアロゾルの日中韓同時観測データ」など

■第二部『気候変動と雲の研究』

国立環境研究所、東京理科大学、埼玉県環境科学国際センター、静岡理科大学 他
温室効果ガスである「CO₂」、地球を冷やす効果のある「エアロゾル」の最新データ、微粒子と雲粒生成、雲内化学の研究として、雲粒の元となる「氷晶核の観測」やドローンを活用した「一滴ごとの雲粒や雨粒の分析」など

■第三部『雷を調べる』

静岡県立大学、富士山環境研究センター、University of California 他
雷や大気電気測定の結果としての「雷現象・必要な測定系改善」「ガンマ線発光 現象の観測」「高高度放電発光現象」など

■第四部『防災に役立てる』

東京都立大学、静岡県立大学、情報通信研究機構、成蹊大学 他
富士山噴火や、激甚災害への防災の観点から「火山性ガスの観測データ」、「富士山麓における全磁力観測データ」、「低周波地震の研究」、「バッテリー駆動型映像伝送システムの実証」、「教育用高精密ドーム映像制作」など

3. 第16回成果報告会聴講参加申込について

聴講参加ご希望の方は、下記URLの「第16回成果報告会 聴講参加申込フォーム」よりお申し込みください。

<https://npofuji3776.org/seika/>

※ なお、感染予防の観点から、一般の皆様にはZoomによるオンライン参加のみとさせていただきますのでご了承ください。

■ 本件に関するお問い合わせ先

認定NPO法人 富士山測候所を活用する会事務局 TEL：03-6273-9723 E-mail：tyo-ofc@npofuji3776.org